

国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの
メッセージ



知らない中国から見る世界

茨城県政策企画部政策調整課 鈴木 龍蔵

中国派遣が決まって

皆さんは中国と聞いてどのようなイメージを持つでしょうか？ 共産党、空気、爆買いなどいろいろあると思いますが、必ずしも良いイメージばかりではないかもしれません。私も具体的なイメージは持てず、中国派遣が決まったと言われたときには心から完全に喜んでいただけと言えなかったような気がします。

北京に上陸して

1年間のクリア本部での勤務と中国語の勉強を経て2018年4月に北京の地へ降り立つと、ビルの大きさ、道路の広さ、人の多さなど全てに圧倒されました。日本ではそこまで浸透していなかったスマートフォン決済が当然の世界で、EVバスが普通に走っているし、無人店舗もたくさんあるし、社会・生活インフラが日本よりも進んでいるというのが第一印象でした。

業務を始めると、まずはやってみるという精神の中国と計画を大事にする日本との間で板挟みになることも多々ありました。それぞれの立場に立ちながら仕事を進めることは非常に大変でしたが、今後の通常業務を進める上でも非常に有意義な経験となりました。

また、日本の自治体が設置する海外事務所は中国が世界で一番多く、クリア職員やほかの自治体職員を通して、茨城県の良いところ、学ぶべきところを知ることができました。プライベートでも、少数民族の地域や数多くの世界遺産などを訪問して見聞を広めることができ、今では派遣先が中国で良かったと思っています。



愛媛・京都・青森からのクリア同僚

帰国してから

2020年、新型コロナウイルス感染症が流行してすぐに帰国した後は、国際交流などを担当する部署に配属と

なりました。国際交流も停滞してしまっていたのですが、昨年からは中国や中国語圏に関係する業務も増えてきています。

特に、昨年に東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う食品の輸入禁止措置が解禁された台湾に向けては、過去最大規模の海外プロモーションを実施しました。2月に知事が台湾に渡航した際には訪問団に同行し、約3年ぶりに中国語を使って県産品や観光のプロモーションを行ってきました。

また、ビジネス渡航が緩和されたことから茨城県を視察する海外企業も回復の途上にあり、中国企業の視察において茨城県の優位性などを伝える機会もありました。

つたない中国語でも一生懸命に自分の言葉で伝えようと努力することで結果として茨城県により関心を持ってもらうことができ、中国語を勉強して良かった、中国に行けて良かったと改めて思うことができました。

中国は政治体制が大きく異なりますが、だからこそ自分の知らない世界を知るという意味でも飛び込む価値がある国だと思います。日本とは異なる生活を通して自分の視野も広くなり、新しい視点で世界を見ることができるようになったと感じています。

国際交流以外の業務でも

現在は外国の方と直接は接しない部署に異動し、中国語はもちろん英語を使うこともありません。しかしながら、中国での幅広い経験で広がった視野や新しい視点は大切に、困ったときやつらいときには日本・世界各地に散らばるクリア時代の同僚に頼りながら、今後も様々な業務に取り組んでいきたいと思っています。

プロフィール・ほか

- クリア在籍時の所属：
2017年～2018年 交流支援部交流親善課
2018年～2020年 北京事務所
- クリア在籍後の所属
2020年～2023年 茨城県営業戦略部国際渉外チーム
2023年～ 茨城県政策企画部政策調整課